

# センター だより

## 第47号

多可町

西脇市

令和3年7月15日発行

公益社団法人



西脇・多可

シルバー人材センター

ホームページアドレス

<http://webc.sjc.ne.jp/nisitaka/>

本部 〒677-0024  
西脇事業所 西脇市嶋253-1  
TEL 0795-23-5686  
FAX 0795-23-1568  
E-mail : nisitaka@sjc.ne.jp

多可事業所 〒679-1114  
多可郡多可町中区岸上224-12  
TEL 0795-32-2209  
FAX 0795-32-4131  
E-mail : nitasc@sjc.ne.jp



道の駅（北はりま田園空間博物館）の駐車場南側にある天神池に浮かぶスイレン

### センターだよりの案内

- ・ 理事長あいさつ、役員紹介 ..... 2
- ・ 令和3年度事業計画と予算 ..... 3
- ・ 安全・適正就業推進委員会からのお知らせ ..... 4
- ・ 令和2年度決算、新会員紹介キャンペーン ..... 5
- ・ 健康情報「熱中症を予防しましょう!!」 ..... 6

# 理事長あいさつ



理事長 村上 明廣

梅雨明けが待ち遠しい今日この頃ですが、会員の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素はシルバー人材センターの事業運営に、格別のご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

先の定時総会において、理事長に選任いただきました。会員役職員の皆様のご尽力ご指導を賜り、引き続き理事長の職責を務めさせていただきますので宜しくお願い申し上げます。

さて、令和3年度の定時総会につきましては、緊急事態宣言中であり、昨年同様に感染防止を目的に、会場への入場者を大幅に削減する為、総会への出席は役員と専門部会並びに各委員のみとし、会員の皆様には委任状による議決権の代理行使をもって出席として開催いたしました。会員の皆様にはこの事態をご理解いただき、出席者26名、委任状出席43

2名計458名で定足数を確保し、上程議案について承認いただき、滞りなく終了いたしました事、改めましてご報告させていただきましたきお礼を申し上げます。

令和2年度を振り返りますと、平成28年頃より会員数の減少に歯止めがかからず、更には新型コロナウイルス感染症の影響も少なからず影響し、会員数753人(前年比90・7%)、平均年齢は73・2歳(前年72・8歳)の会員で事業を進め、契約金額は490,277千円(前年対比85・6%)と低位に終わりました。会員数の減少と高齢化が早急の課題であり、引き続き新聞折込みや西脇市・多可町の広報誌への会員募集や入会説明会を実施し入会を勧めてまいります。また会員による入会制度にも取り組んでおりますので会員の皆様からの勧誘も宜しくお願いいたします。

会員の安全意識の向上と会員の事故防止対策の一環として、会員のご理解のもと会員就業制限制度を昨年6月1日より施行いたしました。結果として幸いにも会員傷害事故は前年度より5件減少、損害賠償事故についても11件減少し「会員の安全に対する意識が高まった」と喜んでい

る所であります。引き続き会員と共に事故防止・安全対策に取り組んでいきます。

最後に私たち役職員は、「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、「高齢者の生き甲斐づくり・居場所づくり」などの場を提供する事を使命として、「会員が安心・安全で作業ができるルールを共有」し、「人生100年時代の一役」を果たしていきたいと、思っている所であります。新型コロナウイルス感染症も、インド株等の脅威にまだまだ予断を許さない日々が続きますが、ワクチン接種と共に平穏な日々が来ることを祈念申し上げます、ご挨拶に代えさせていただきます。



上原敏伸 齋藤博史 川尻澄子 佐藤彰浩 吉田和夫 村上明廣 井上悦雄 世倉規生 飛田和博 野添昭子 細尾道宏 藤田喜晴 細川喜美博

## 役員紹介

理事長	村上 明廣
副理事長	笹倉 規生
常務理事	細川 喜美博
理事	野添 昭子
理事	井上 悦雄
理事	藤田 喜晴
理事	細尾 道宏
理事	齋藤 博史
理事	川尻 澄子
理事	上原 敏伸
理事	吉田 和夫
理事	吉田 孝司
理事	佐藤 彰浩
監事	竹本 博文
監事	飛田 和平

# 令和3年度事業計画と予算

去る5月27日、北はりま職業訓練センターに於いて、令和3年度定時総会を開催し、令和3年度事業計画と予算を報告しました。

今年度も、新型コロナウイルスの感染予防措置として、会員の皆様には委任状の提出をお願いし、役員15名と専門部会及び各委員会の委員11名の計26名の出席、委任状432名のもと開催しました。

## 事業計画

### 一、基本方針

日本の人口は、平成20年の1億2,808万人をピークに、その後は減少に転じています。高齢者数の伸びの鈍化と64歳までの人口減少の加速により、今後、減少幅はさらに大きくなると見込まれています。

高齢化率は、平成2年の12・1%から令和元年には28・4%と、急激に進行しており、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、令和22年には、35・3%になるとされています。

また、就業者数が、平成元年の6,128万人から、令和元年には6,724万人へと増加する中、60歳以上の就業率については、60歳から64歳までが52・3%から70・3%に、65歳から69歳までが37・3%から48・4%になるなど、平成の30年間で大きく伸びています。

60歳以上の就業率が伸びる一方で、雇用延長義務化の影響等もあり、当センターの会員は、年々減少するとともに、契約金額も減少が続いており、昨年度からは、新型コロナウイルス感染拡大の影響も出てきています。

シルバー人材センターは高齢者の就業機会確保のための基盤組織として一定の機能を果たしていますが、高齢者の就業ニーズが変化し多様化してきている中、地域の課題に対応した就業機会を掘り起こし、会員に提供する仕組みを作っていくことが大きな課題となっています。

今年度も、中期事業計画（第二次5か年計画）に沿って、高齢者の生きがいづくり・居場所づくりなど地域になくしてはならない存在としての役割を果たすために、会員・役員・職員が互いに協力し、会員拡大の推進や就業機会の開拓、適正就業の推進に取り組んでまいります。

### 二、事業内容

#### \*中期事業計画(第二次5か年計画)の推進

今後ともシルバー事業の前途には様々な課題が立ちはだかると考えられますが、「自主・自立、共働・共助」の理念の下に、会員・役員が協力して中期事業計画の推進に取り組めます。

#### \*安全就業の推進

会員に配布している安全・適正就業ハンドブックの活用をはじめ、センターだより等の発行による啓発と、安全・適正就業推進委員会による作業現場の巡回指導等により、就業中の事故防止に努めます。

#### \*健康診断の受診を促すとともに、会員の健康状態の把握に努めます。

またセンターだよりを通じて、会員各自での健康管理を促します。

#### \*夏季の熱中症対策や事故多発時等に、必要に応じて安全・適正就業通信等を配布し、会員への注意喚起に努めます。

また、会員の安全意識の向上と、事故防止対策の一環として、会員就業制限制度（ペナルティ制度）の適切な運用を図ります。

#### \*適正就業の推進

会員の就業は「臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務」と定められており、発注者と会員の理解を得ながらワークシェアリング等により、適正就業ガイドラインの遵守に努めます。

就業内容等の点検を行い、不適正な就業があれば是正に努めます。

適正就業ガイドラインに基づく適正就業の周知を入会説明時に実施します。

#### \*就業機会の開拓推進

地域社会の就業ニーズの把握を的確に行うとともに、ホームページの随時更新や新聞折り込みによるチラシの配布、西脇市と多可町の広報誌への広告掲載等により、シルバー事業のPRを行い、就業機会の掘り起し、新規就業の獲得に努めます。

#### \*介護認定の要支援者に対する訪問型サービスの受注拡大を推進し、同サービスの対象外となる家事支援等についても、取り組んでいきます。

子育て支援や訪問型サービス、家事援助等の福祉関連分野での就業拡大に努めます。

#### \*女性会員の就業拡大

子育て支援や訪問型サービス、家事援助等の福祉関連分野での就業拡大に努めます。

#### \*会員拡大の推進

西脇、多可の公共施設で各3回、西脇事業所、多可事業所で各7回の入

会説明会を開催するとともに、ホームページでの募集、会員による新規会員紹介制度等を行い、会員の拡大に努めます。

#### \*その他の事業

一般労働者派遣事業及び有料職業紹介事業については、兵庫県シルバー人材センター協会と連携しながら引き続き実施します。

#### \*共益事業

会員の拡大と会員相互の連携を進め、当センターのさらなる活性化を図るため、会員研修旅行やグラウンドゴルフ大会、ボランティア活動などの会員福利厚生事業を実施します。

#### \*支部制度の変更

今年度より、西脇市支部と多可町支部を本部・西脇事業所と多可事業所に改め、主な事務を本部に集中するなどして組織の簡素化による事務効率化と経費削減を図っていきます。

#### 予算

##### 【収益】

受託事業収益については、令和2年度補正後予算比11・4%の減を見込み、経常収益計も、前年度補正後予算比9・9%の減を見込みました。

##### 【費用】

支払配分金は、前年度補正後予算比11・4%の減を見込みました。その他の経費についても所要見込額を計上するとともに、安全対策や会員拡大・就業拡大に関する啓発経費、会員福利厚生に関する経費を計上しました。

その結果、収支見込額マイナスイナス6,793千円の予算編成となりました。

**安全・適正就業推進委員会からのお知らせ**

当センターの令和2年度の会員の傷病事故は5件で、就業途上のものを除き、作業中や片付け中における転倒が2件あったほか、マダニ(虫)による負傷もありました。長期入院(46日間)となる重大な事故もありましたが、件数自体は令和元年度(10件)から半減しています。昨年6月に導入した「安全就業における就業制限についての基準」(ペナルティ制度)の効果もあるものの、平成29年度(23件)以降、事故件数は継続して前年の件数を下回っており、会員の皆さんの安全に対する意識の高まりによるところが大きいと捉えています。

傷病事故の多くは、作業中や就業場所でのほんの少しの油断から起こっています。「いつもの作業だから」、「いつもの場所だから」といった「慣れ」が油断を生み、時には重大な事故につながる事になります。会員の皆さん自身の身に及ぶことです。就業途上も含め、常に細心の注意を払って、引き続き事故防止に努めてください。また、この時期、熱中症等への暑さ対策にも努める必要があります。特に、屋外での作業では十分な水分補給とともに、異変を感じた場合は、無理せず、センターの担当職員に連絡して作業工程を調整するなど柔軟な対応を心掛けてください。

一方、会員が就業中に第三者に損害

を与えた賠償事故は10件で、こちらも令和元年度(21件)から半減していますが、これまでと同様に、車の運転に関わるものが半数を占めるとともに、刈払機による飛び石が原因となる事故が目立ちます。

傷病事故や賠償事故が起これば、その処理に多くの時間を要し、就業に支障が出るとともに発注者にも多大なご迷惑をおかけすることになります。作業場所の安全確認、作業手順の確認、安全対策等を毎回怠らず、常に注意を払って安全就業を心がけてください。

今年度も、センターでは、7月を「安全・適正就業強化月間」と位置付け、安全・適正就業推進委員会による作業現場の巡回指導を実施するとともに、ハンドブックによる安全・適正就業の啓発、ペナルティ制度の運用などにより、会員の安全意識の向上とさらなる事故防止に努めます。

また、会員の就業が「臨時的かつ短期的(おおむね月10日程度以内)又はその他の軽易な業務(おおむね週20時間をこえない)」と定められている中、就業内容等の点検を行い、発注者と会員の理解を得ながらワークシェアリングの実施等により、引き続き適正就業ガイドラインの遵守に努めていきます。

**安全は  
すべてに優先する**

**令和2年度の西脇・多可シルバー人材センター事故発生状況**

**(1) 会員の負傷事故**

作業種別	事業所		性別		年齢			通院	入院			死亡	計
	西脇	多可	男性	女性	60代	70代	80代		10日以内	11~29日	30日以上		
学校用務	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	
剪定	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	
刈払機	0	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	
清掃	1	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	
就業途上	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	
合計	3	2	4	1	1	4	0	4	0	1	0	5	

**(2) 会員就業中の損害賠償事故**

作業種別	事業所		賠償内容別				件数計
	西脇	多可	車両	家屋等	樹木等	人身	
刈払機	0	3	2	1	0	0	3
剪定	1	1	1	1	0	0	2
運転	4	1	5	0	0	0	5
合計	5	5	8	2	0	0	10

\* 『安全確認は 一度と言わず 二度三度』      \* 『安全は 一人ひとりが 責任者』  
 \* 『さっきした 安全確認 もう一度』

## 令和2年度決算から

当センターにおける契約金額は、地域経済の影響や適正就業の推進、会員数の減少等により、平成28年度から減少傾向が続いています。さらに、令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大による就業機会縮小の影響も加わり、受託事業収益は前年度と比較して16・4%の減となりました。一方、派遣事業受託収益については、前年度比で11・3%の増加となっています。また、会員数については753人で、男性・女性会員ともに前年度から減少しています。

## 《令和2年度決算》

収益		単位：千円
経常収益 479,965	受託事業収益	440,579
	派遣事業受託収益	4,219
	会費・生活支援収益等	3,981
	補助金	31,186
経常外収益	固定資産受贈益	98

費用		単位：千円
経常費用 485,034	事業費	477,261
	管理費	7,773
経常外費用	固定資産除却損	28

収益-費用		単位：千円
経常収益 + 経常外収益		480,063
経常費用 + 経常外費用		485,062
当期一般正味財産増減額		△4,999

## 《会員の状況》

区分	令和2年度末	令和元年度末
男	490人	538人
女	263人	292人
計	753人	830人
平均年齢	73.2歳	72.8歳

## 「黒田庄和牛 会員紹介キャンペーン」当選結果！ 及び終了のお知らせ

昨年度令和2年4月から3年3月までの間「会員紹介キャンペーン」を実施し、終了いたしました。ご紹介いただいた皆さんご協力ありがとうございました。

当キャンペーンの概要は、就業した新会員（紹介されて会員になった方）が多い順から、3名の紹介者に景品として黒田庄和牛を進呈するというものでした。

## ◇ 結果報告 ◇

5名の紹介者からそれぞれ1名ご紹介いただいた方が就業され、新会員となった方が5名でした。よって同順となりましたので、**厳正なる抽選の結果、当選者3名を選ばせていただきました**

なお、景品につきましては新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言中でしたので、黒田庄和牛の手渡しを避けるため商品券の発送に変更させていただきましたので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。



通常の会員紹介については常時受け付けております！  
お心当たりのある方はぜひ、ご友人お知り合いをご紹介いただけましたら幸いです。  
ご紹介いただけた方には商品券を進呈しています。

蒸し暑い日は  
特に注意!!

急に  
暑くなった

湿度が  
高い

気温が  
高い

風が  
弱い



# 熱中症を予防しましょう!!

■**熱中症患者**のおよそ半数は**65歳以上の方**です。

マスクを着用していると、体に熱がこもりやすくなります。

マスク内の湿度があがると、喉の渇きに気づきにくいいため、熱中症が起こりやすくなりますので、こまめな水分補給を心がけましょう。

また、マスクを着けている時は、激しい作業や運動を避け、人と2メートル以上の距離が確保できる場合は、マスクをはずして休憩しましょう。



熱中症を防ぐために

## マスクをはずしましょう

ウイルス感染対策は忘れずに!



## 水分をこまめに摂る工夫



※食事療法されている方は、かかりつけ医や管理栄養士の指示に従いましょう。

**1日の水分摂取量 (1.2リットル以上) = 食事 (間食含む) + 飲み物**

- ★バランスのよい食事に、新鮮な野菜や果物を取り入れる
- ★汁物 (豚汁・ポタージュ等、お浸し)、ゼリー、プリンを食べる
- ★コップ1杯の水を1日6~8回飲む (起床時・食事後や間食時・風呂上がり前後・就寝前)
- ★利尿作用があるコーヒーや緑茶は控える
- ★汗をかく作業や運動の後やアルコールの摂取時は、意識して多めに水分をとる